

愛知県新体育館について

※愛知県資料より

(1) 全体概要

趣旨

〈背景〉

- ・ 現体育館は1964年10月の東京オリンピックの直前に完成し、以来半世紀以上、夏の風物詩にもなっている大相撲名古屋場所の開催などを通して、県民に親しまれている施設である。
- ・ しかしながら、施設の老朽化とともに、同じ頃に建設された、国内の他のスポーツ施設と同様に、規模、機能とも国際基準を満たしていない。
- ・ そこで愛知県では、2026年アジア競技大会に利用できるよう、新体育館の整備に向けた準備を進めている。

新体育館は、国際大会を開催するために必要な規模、機能を有することで、国際スポーツ大会などの誘致を可能とし、かつ大相撲名古屋場所の開催など現体育館が担ってきた伝統や歴史をさらに発展させていく愛知・名古屋のシンボルとなる施設を目指す。

5つのコンセプト

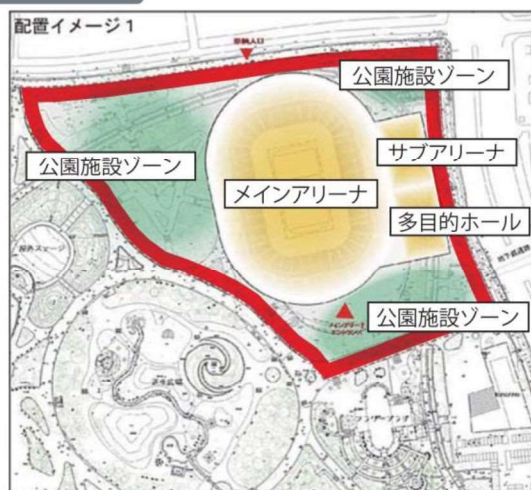
- ① 大相撲名古屋場所にふさわしい風格のある施設
- ② ビンボン外交など50年以上の愛知県体育館の歴史を引き継ぐ施設
- ③ 全国大会を常時開催できる施設
- ④ アジア大会を始めとした国際大会を開催できる施設
- ⑤ 全国レベルのコンサート、イベント、コンベンション等の拠点となる施設

施設の概要

- ・ 所在地：名城公園北園の一部
- ・ 面積：約4.6ha
- ・ 管理者：名古屋市（土地は国有地）
- ・ 主要アクセス：名古屋市営地下鉄名城線
名城公園駅（徒歩約1分）
市役所駅（徒歩約10分）

- （新体育館建築諸元（案））
- ・ 建築面積：20,000m²程度
 - ・ 延床面積：43,000m²程度
 - ・ 建物高さ：31m
 - ・ 観客席：1万5千席確保

配置イメージ





(2) 事業スケジュール (予定)

内 容	年 月
・ 事業契約の締結	2021年 (令和3年) 6月
・ 施設の供用開始	2025年 (令和7年) 4月